日南市内企業景況調査報告書

令和５年１月～3 月

１．実施概要

（1）回答企業数

回答企業数　　３３社

業種別

製造業	10 社
建設業	５社
卸売業	４社
小売業	９社
サービス業	５社
合計	３３社

（2）実施時期　令和５年１月～3 月期

（3）調査内容

調査対象の第４四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の項目ごとに景況感を調査した。

（4）調査対象

日南市内の製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の５業種で合計３３社を調査対象とした。

（5）調査方法

日南市内の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を FAX 等で返信していただき、調査結果を集計し分析する。

（6）その他

業種別の結果については日南商工会議所ホームページにて掲載。

２．調査結果（ＤＩ）

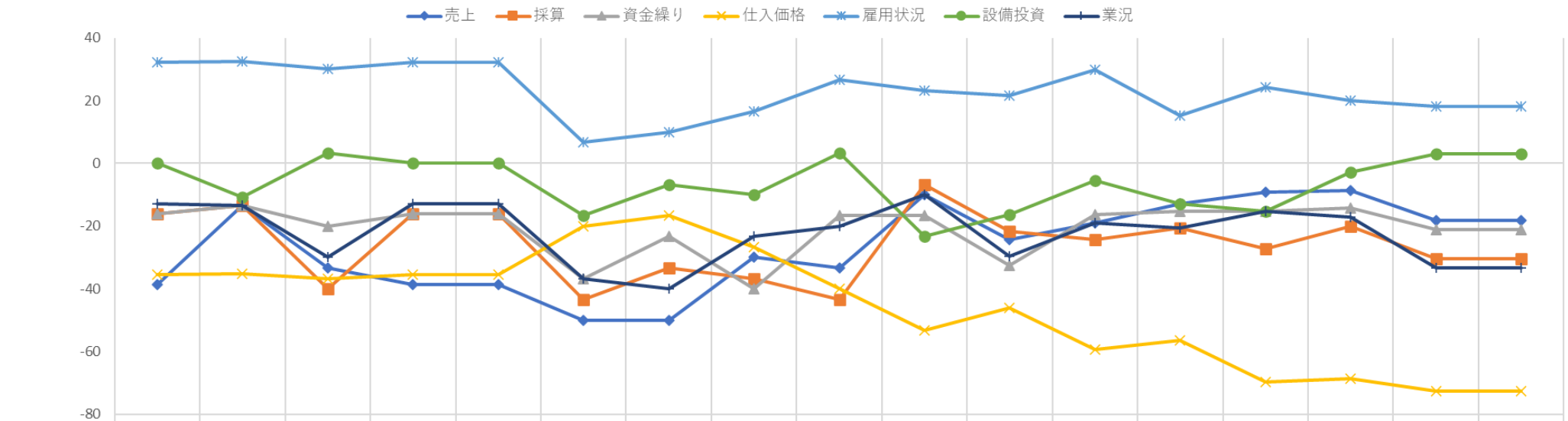
ＤＩとは（景況判断指数）とは

ＤＩは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値は景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナス値は景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

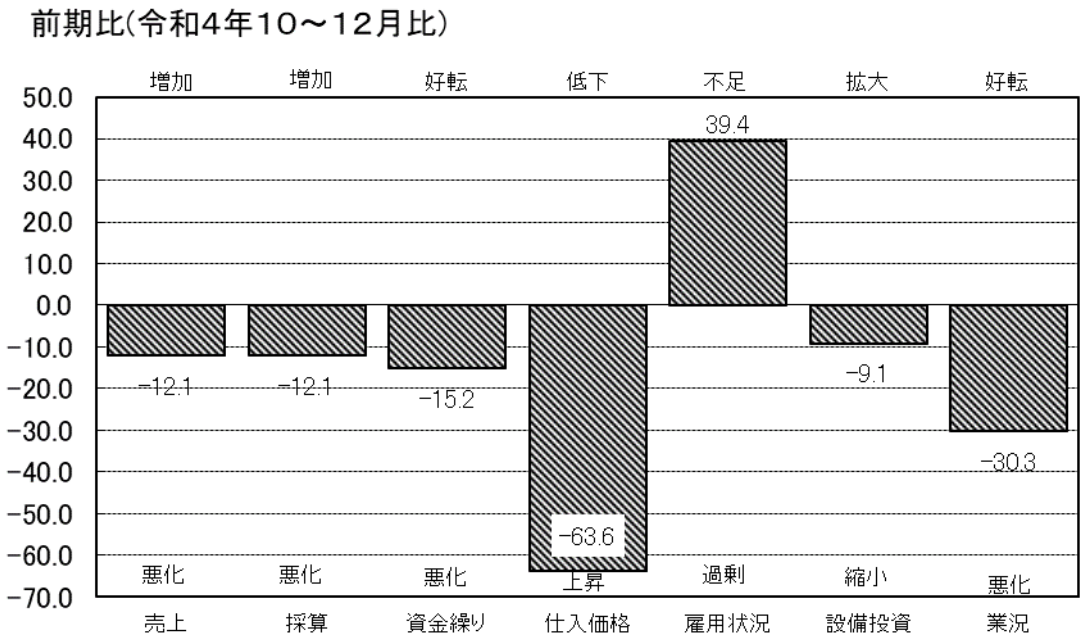
売　　上 DI	＝	（増加回答の割合）		－	（減少回答の割合）	
採　　算 DI	＝	（好転	〃	）	－	（悪化	〃	）
資金繰り DI	＝	（好転	〃	）	－	（悪化	〃	）
仕入価格 DI	＝	（下落	〃	）	－	（上昇	〃	）
雇用状況 DI	＝	（不足	〃	）	－	（過剰	〃	）
設備投資 DI	＝	（拡大	〃	）	－	（減少	〃	）
業　　況 DI	＝	（好転	〃	）	－	（悪化	〃	）

前年同期比（全企業DIの３か年の推移）

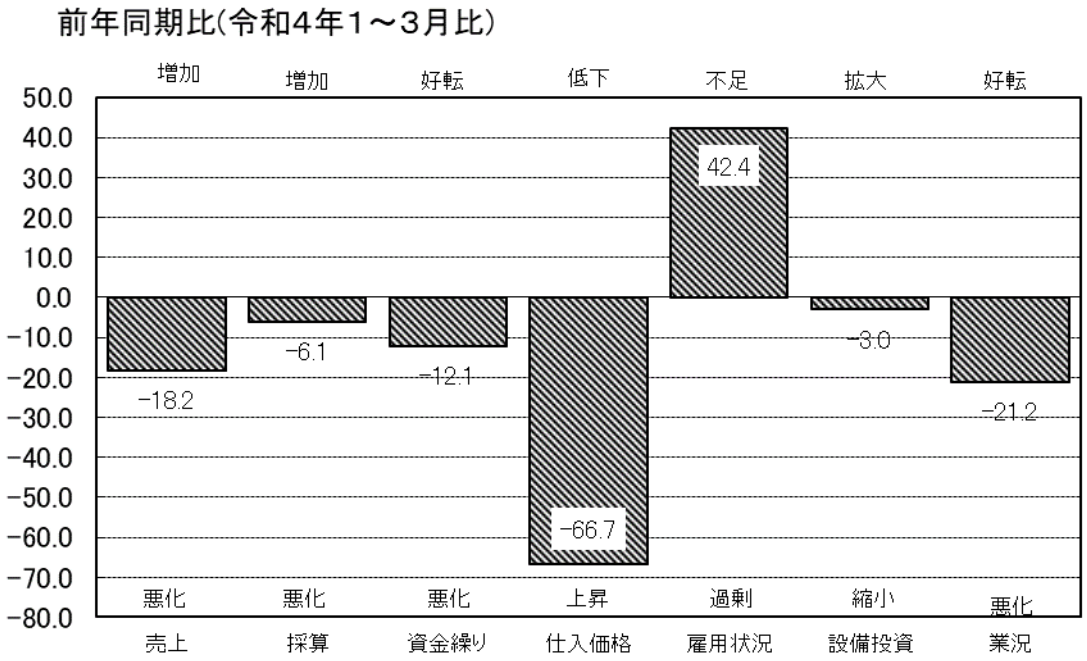


	19・1-3	19・4－6	19・7-9	19・10-12	20・1-3	20・4-6	20・7-9	20・10-12	21・1-3	21・4-6	21・7-9	21・10-12	22・1-3	22・4-6	22・7-9	22・10-12	23・1-3
売上	-38.7	-13.5	-33.3	-38.7	-38.7	-50	-50	-30	-33	-10	-24.3	-18.9	-12.8	-9.1	-8.6	-18.2	-18.2
採算	-16.1	-13.5	-40	-16.1	-16.1	-43.3	-33.3	-36.7	-43.3	-6.7	-21.6	-24.3	-20.5	-27.3	-20.0	-30.3	-30.3
資金繰り	-16.1	-13.5	-20	-16.1	-16.1	-36.7	-23.3	-40	-16.7	-16.7	-32.4	-16.2	-15.4	-15.2	-14.3	-21.2	-21.2
仕入価格	-35.5	-35.1	-36.7	-35.5	-35.5	-20	-16.7	-26.7	-40	-53.3	-45.9	-59.5	-56.4	-69.7	-68.6	-72.7	-72.7
雇用状況	32.3	32.4	30	32.3	32.3	6.7	10	16.7	26.7	23.3	21.6	29.7	15.4	24.2	20.0	18.2	18.2
設備投資	0	-10.8	3.3	0	0	-16.7	-6.7	-10	3.3	-23.3	-16.2	-5.4	-12.8	-15.2	-2.9	3.0	3.0
業況	-12.9	-13.5	-30	-12.9	-12.9	-36.7	-40	-23.3	-20	-10	-29.7	-18.9	-20.5	-15.2	-17.1	-33.3	-33.3

３．市内の景気動向（全業種）

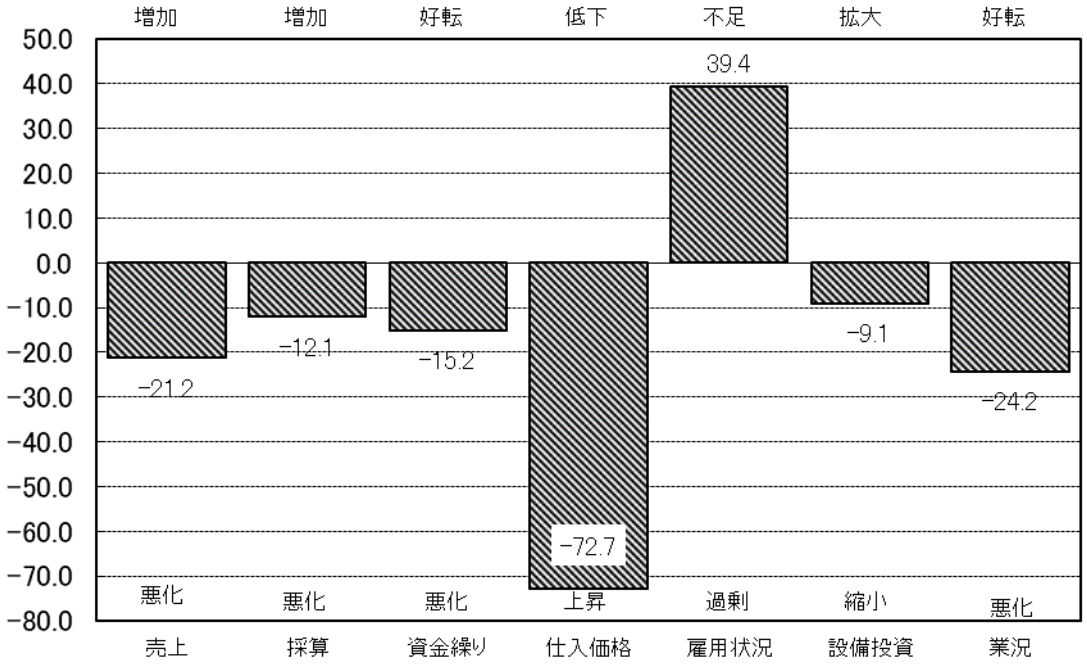


前期（令和４年１０月～１２月）と比較すると、全ての項目においてマイナスの値を示した。特に仕入価格の上昇についての回答が多く、原油価格の高騰や円安による物価上昇の影響を受けており、前期比と比べて業績が悪化したと回答している事業所が多かった。また、雇用状況が不足している事業所も多かった。



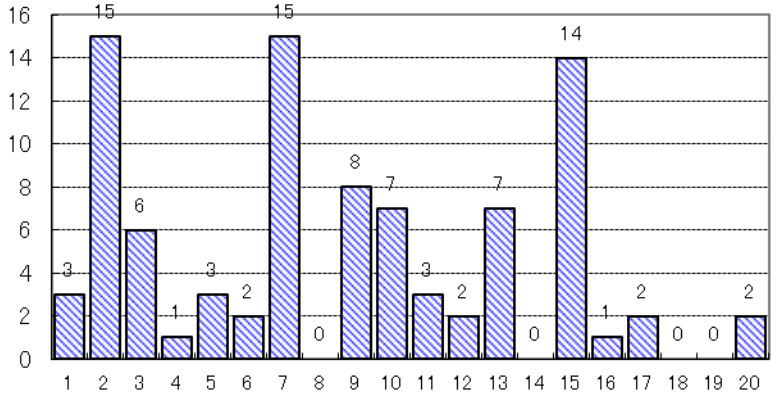
前年同期と比較すると、全ての項目においてマイナスの値を示した。特に仕入価格の上昇についての回答が多く、原油価格の高騰や円安による物価上昇の影響を受けており、前年比と比べて業績が悪化したと回答している事業所が多かった。また、雇用状況が不足している事業所も多かった。

来期見通し(令和5年4～6月見通し)



来期の見通しでは、仕入価格の上昇、燃料や人件費の高騰により採算や資金繰りの見通しが立たないという回答が多かった。また、依然として一部の資材の納入遅延が続いており、その景況が懸念されるという回答が見られた。

4．経営上の問題点（全業種）



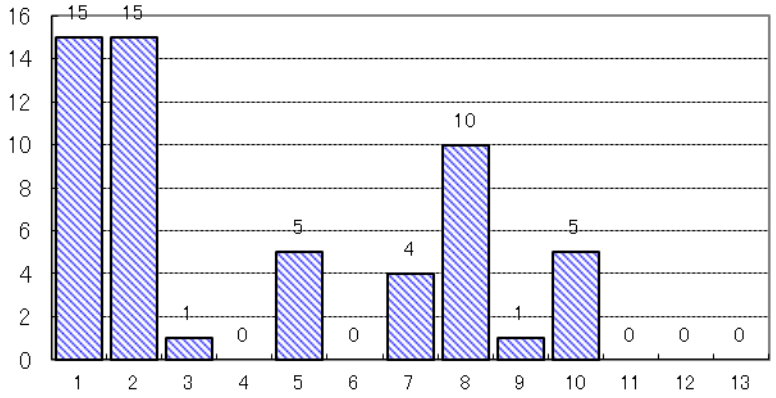
順位

１位	2. 需要の停滞
１位	7. 原材料（仕入単価）価格の上昇
３位	15. 従業員の不足
４位	9. 原材料・人件費以外の経費の増加
５位	10. 人件費の増加

項目一覧

1. 県外大手企業の進出による競争の激化
2. 需要の停滞
3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
4. 新規参入業者の増加
5. 生産設備の不足・老朽化
6. 製品ニーズの変化
7. 原材料（仕入単価）価格の上昇
8. 生産設備の過剰
9. 原材料・人件費以外の経費の増加
10. 人件費の増加
11. 製品（販売）単価の低下・上昇難
12. 原材料の不足
13. 熟練技術者（従業者）の不足
14. 金利負担の増加
15. 従業員の不足
16. 事業資金の借入難
17. 商品在庫の過剰
18. 取引条件の悪化
19. 為替相場による海外製品との競争激化
20. 代金回収の悪化

5．今後の対応策



順位

１位	1. 従業員を新規雇用したい
１位	2. 生産性を向上させたい
３位	8. 新規市場を開拓したい
４位	5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など）
４位	10. 経営の多角化を行いたい

項目一覧

1. 従業員を新規雇用したい
2. 生産性を向上させたい
3. 人件費を削減したい
4. 生産調整を行いたい（操業短縮など）
5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など）
6. 金融機関から資金を調達したい
7. 新製品の開発を行いたい
8. 新規市場を開拓したい
9. 業種転換を行いたい
10. 経営の多角化を行いたい
11. 下請発注を減らしたい
12. 海外へ生産拠点を移したい
13. 海外から原料・部品を調達したい

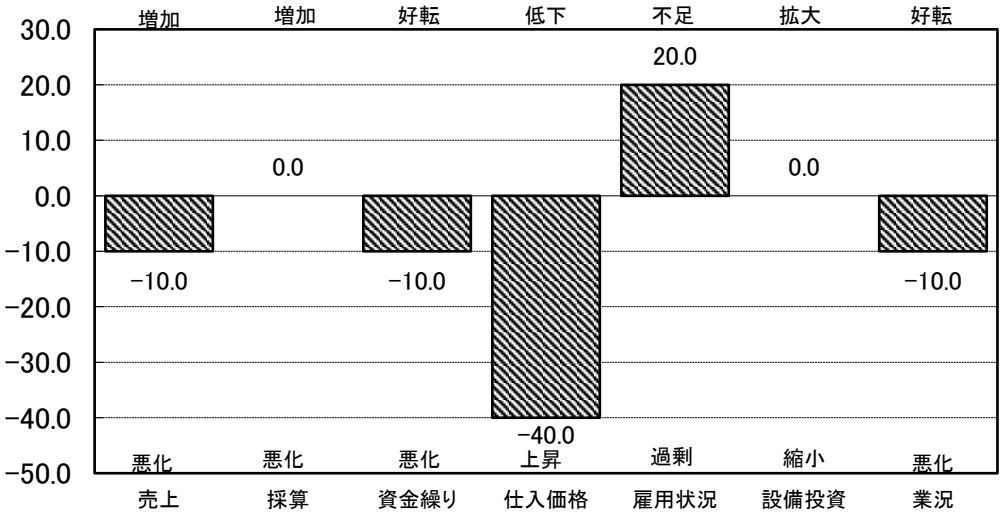
6．国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
建設業	メンテナンス（電気・電力・計装）電気・計装・通信工事、盤設計製造	日南	光熱費を含んだエネルギー価格の安定。 半導体をはじめとした原材料の安定調達。
建設業	土木建設業	日南	東九州道(北郷～清武間)の開通により宮崎市への往来が活発になる様なので、日南～南郷間の事業に期待している
建設業	建設工事業	日南	原材料費の高騰への助成支援をしてほしい
小売業	小売酒販店	日南	ネット通販のお客さん等廃業通知を出すタイミング、在庫数をどこ迄減らせるか等々
小売業	不動産管理	日南	住民税非課税世帯への現金支給よりも、非正規労働者は労働時間が減り生活が苦しい、最低賃金の引き上げは必要である。現金支給をばらまきすぎではないでしょうか
小売業	百貨店	日南	市の人口増、消費拡大は望めない、市のあるべき姿を早急に考える必要があると思う。インバウンドが効果がある、クルーズ船の入港増
小売業	スーパー、精肉卸	日南	賃金アップなどの話が出ているが、大手と違い、設備の投資も厳しい状況でどのようにやりくりしていくのか？特に日南などは雇用したくてもできない様な状況にあると考えられる。まずは、賃金アップを各会社にまかせるだけではなく県や国として取り組まないと企業体力がもたない所が必ず増えてくると思う
小売業	農水産物直売所	日南	高速道路も開通したため人流が増えていく。しかし、日南在住で宮崎市通勤が増えそうで、人流増加が人手不足の解消に結ながらないと思う
サービス業	タクシー	日南	支援して欲しい
サービス業	ホテル業	日南	設備投資の補助金を多く望みます

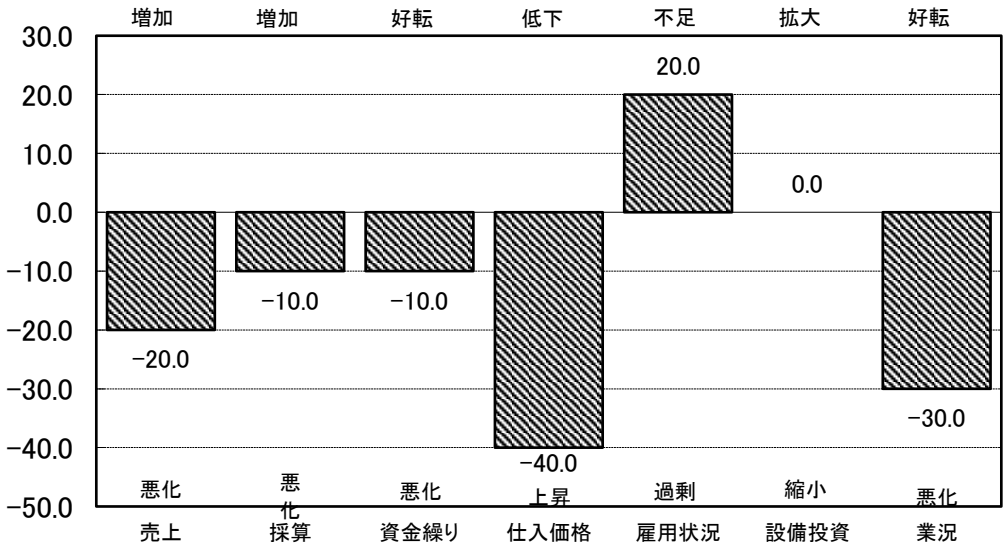
5. 業種別の景気動向

(1) 製造業

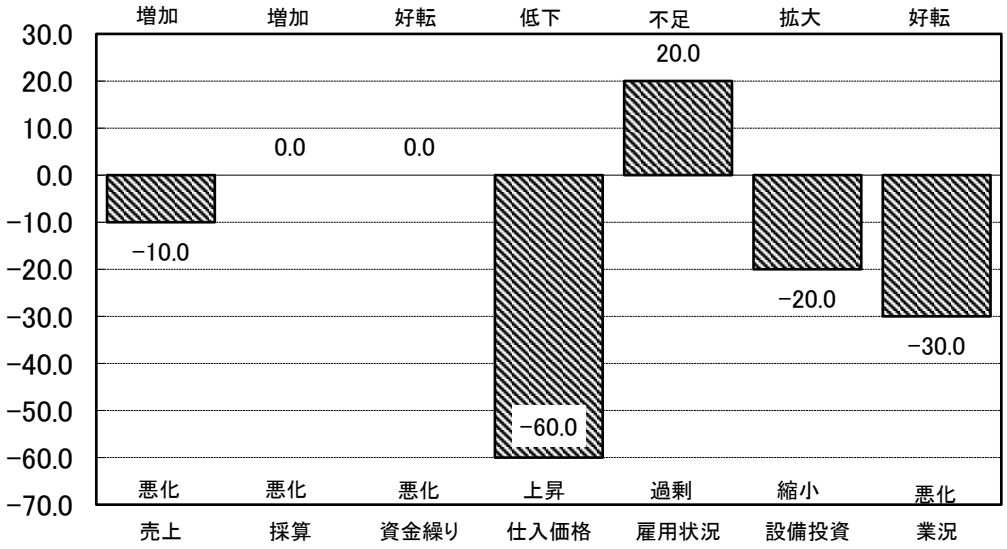
前期比(令和4年10～12月比)



前年同期比(令和4年1～3月比)

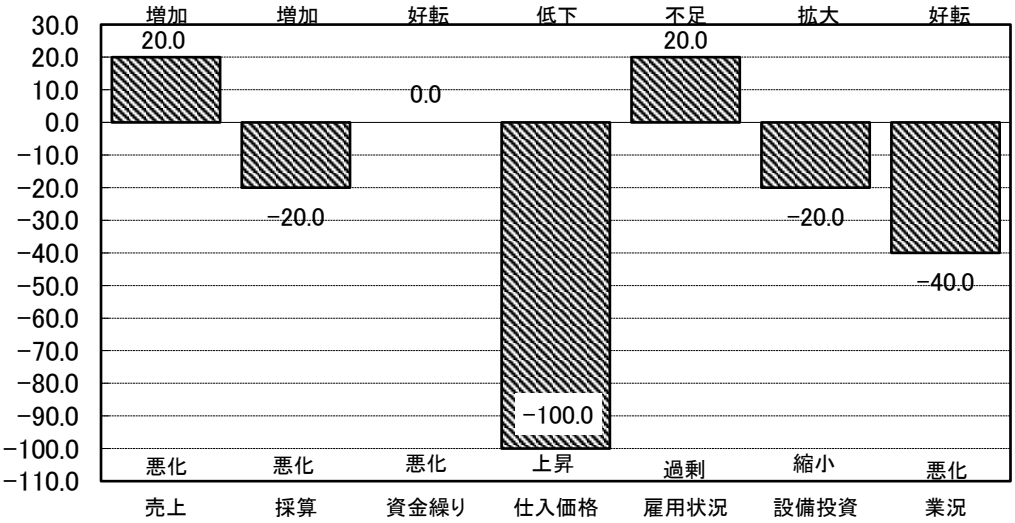


来期見通し(令和5年4～6月見通し)

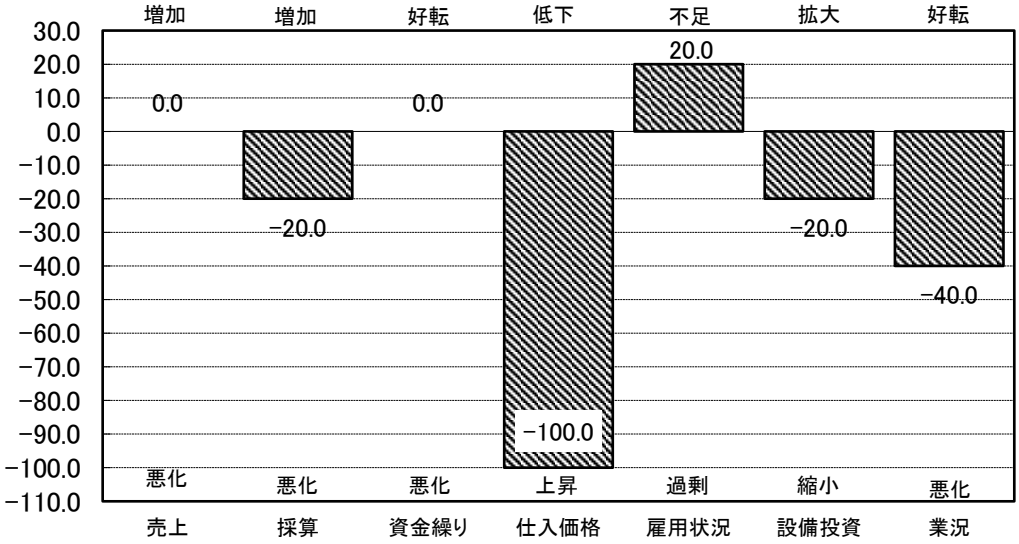


(2) 建設業

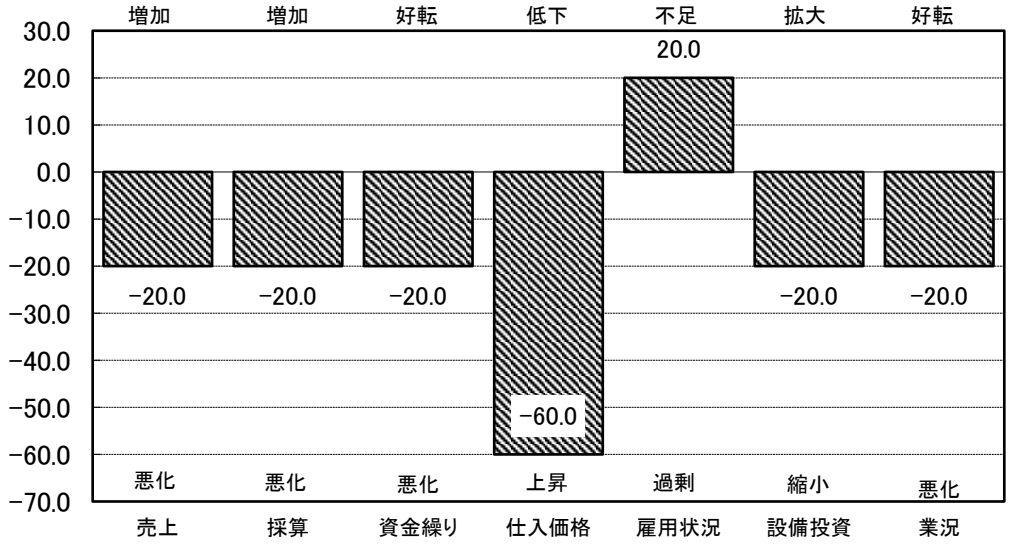
前期比(令和4年10～12月比)



前年同期比(令和4年1～3月比)

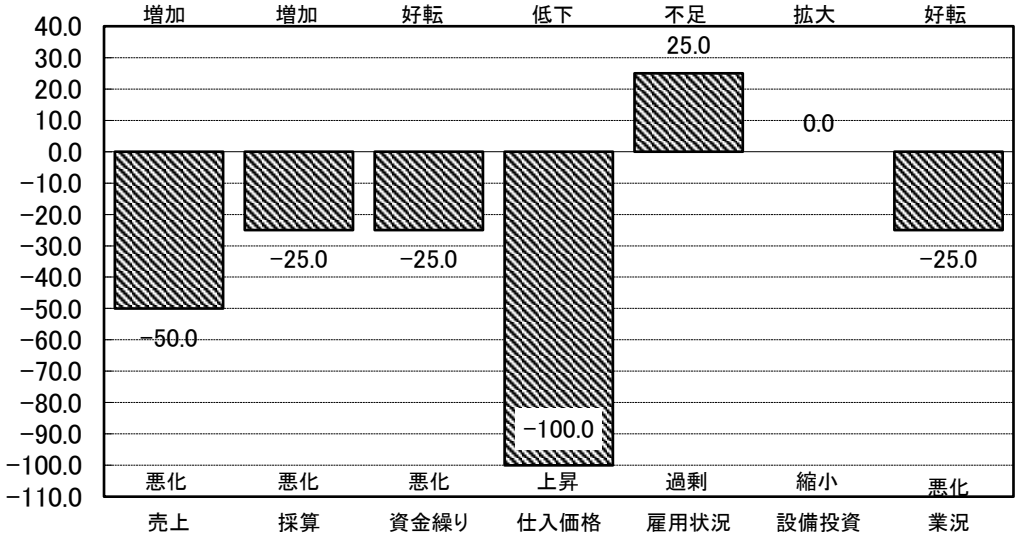


来期見通し(令和5年4～6月見通し)

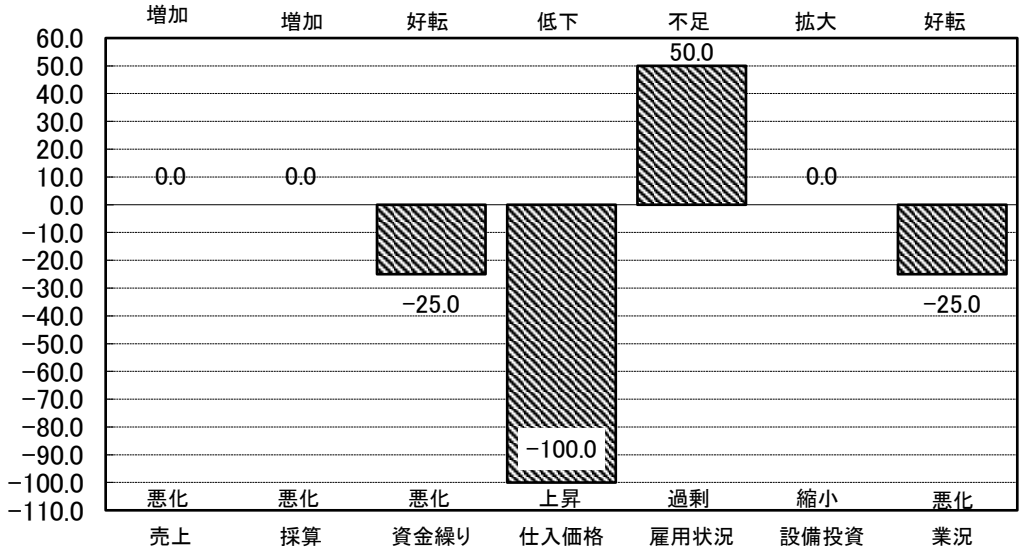


(3) 卸売業

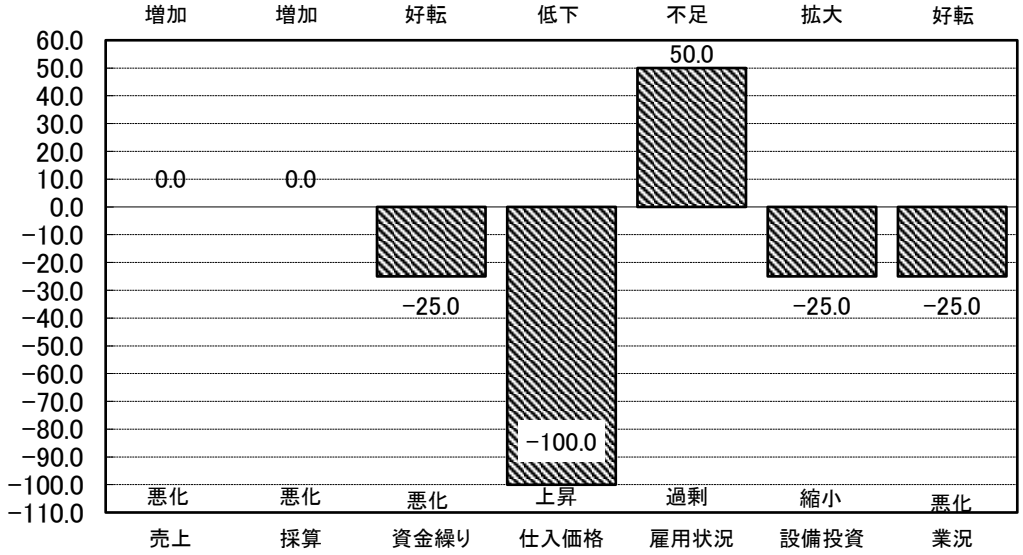
前期比(令和4年10～12月比)



前年同期比(令和4年1～3月比)

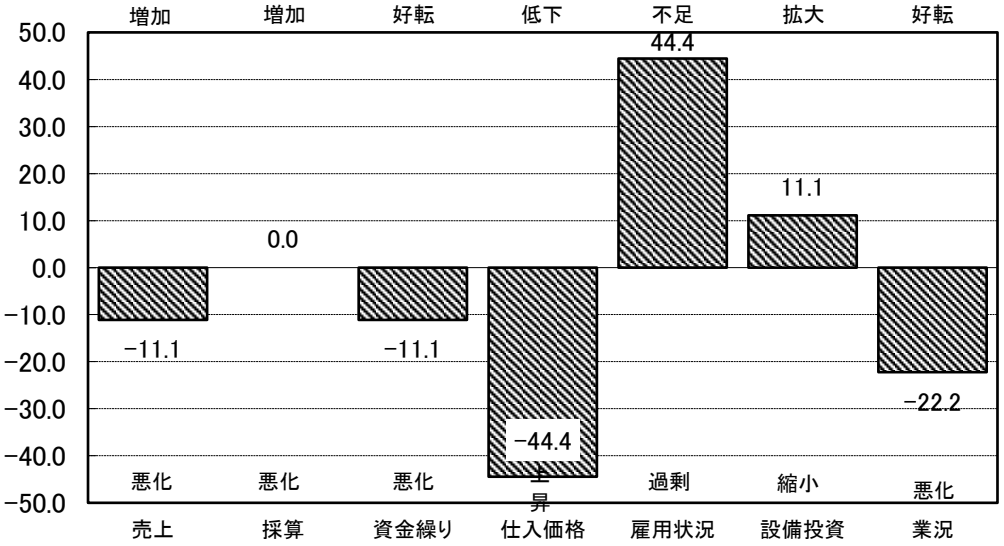


来期見通し(令和5年4～6月見通し)

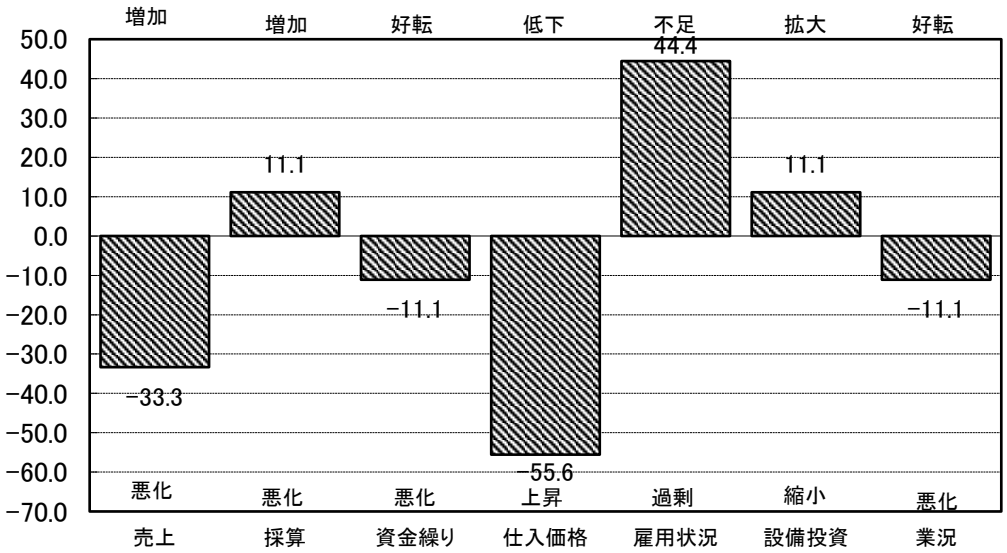


(4) 小売業

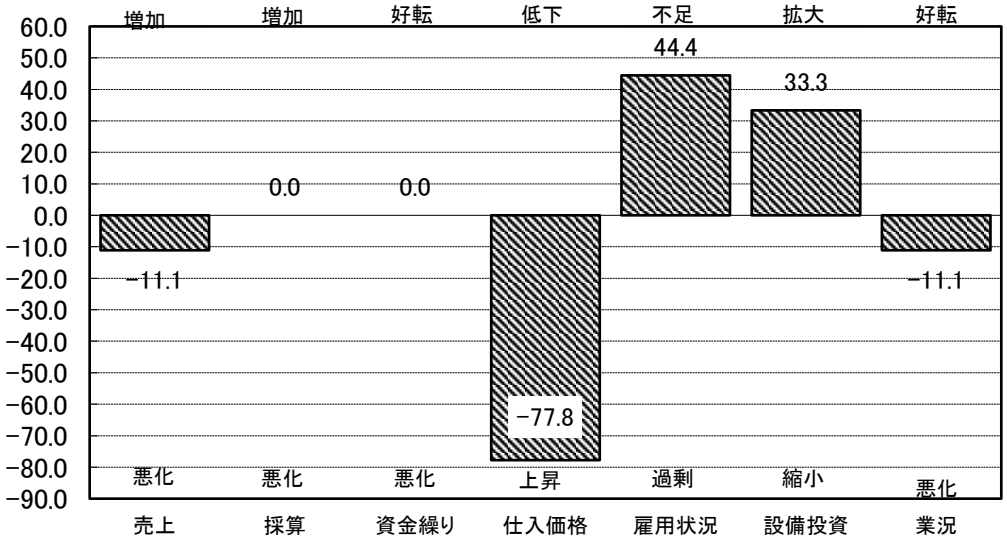
前期比(令和4年10～12月比)



前年同期比(令和4年1～3月比)

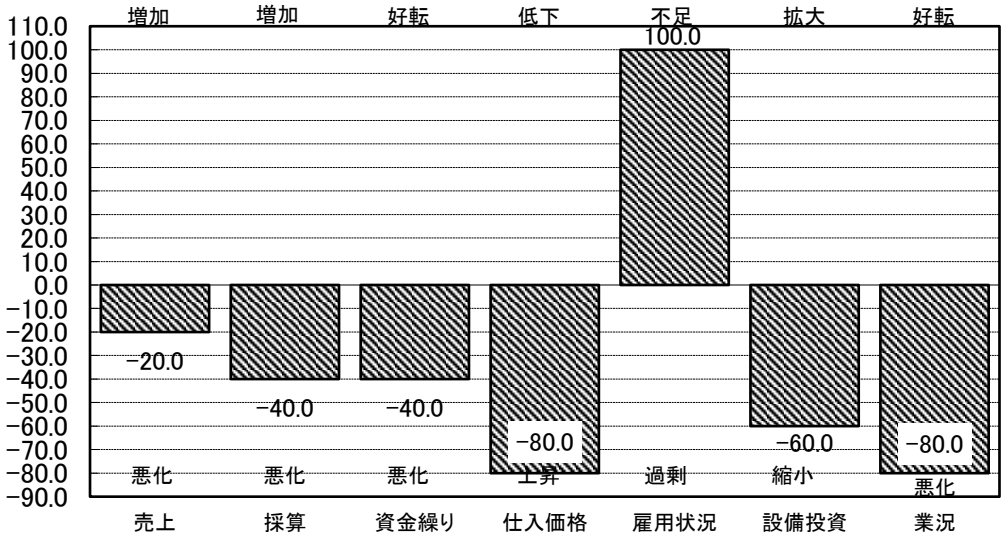


来期見通し(令和5年4～6月見通し)

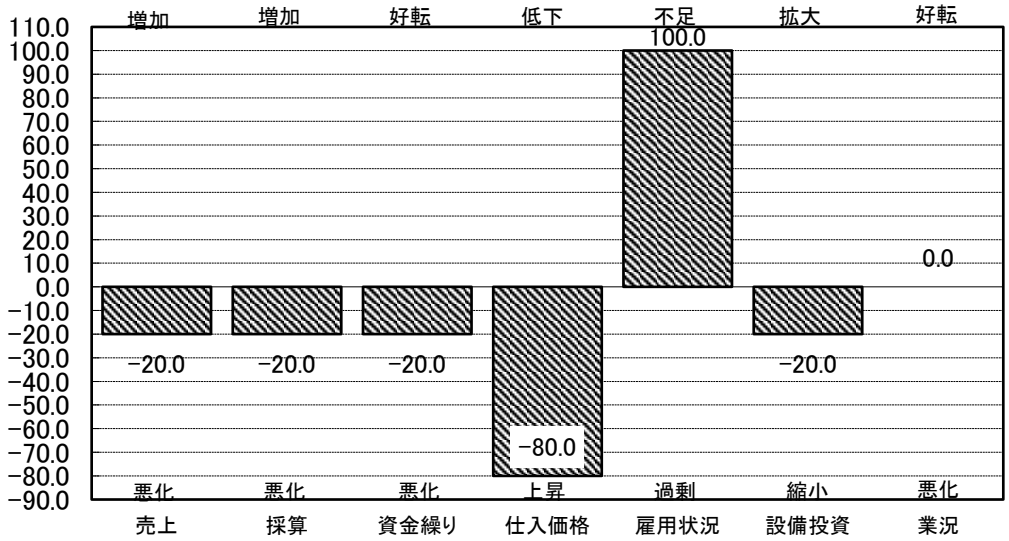


(5) サービス業（飲食関連・観光関連を含む）

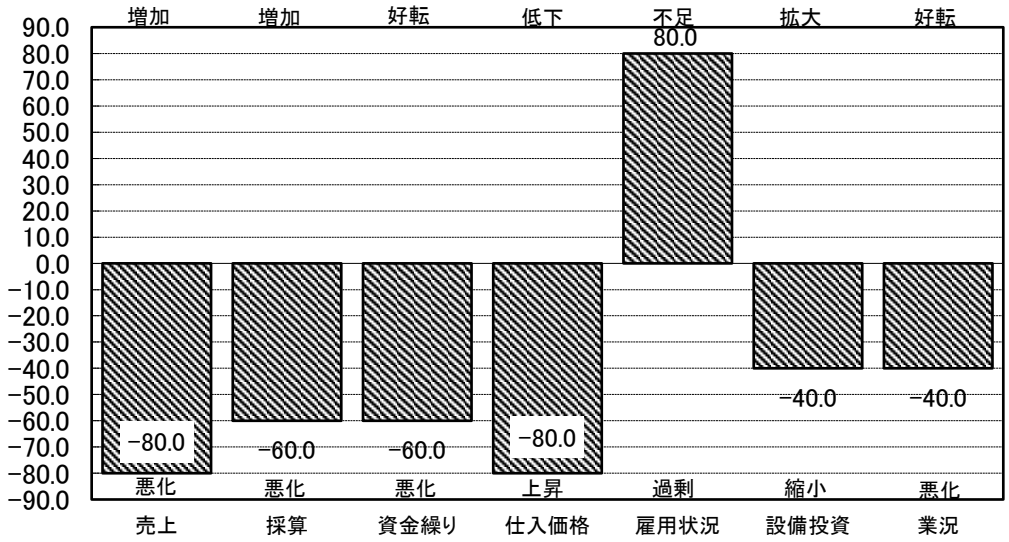
前期比(令和4年10～12月比)



前年同期比(令和4年1～3月比)

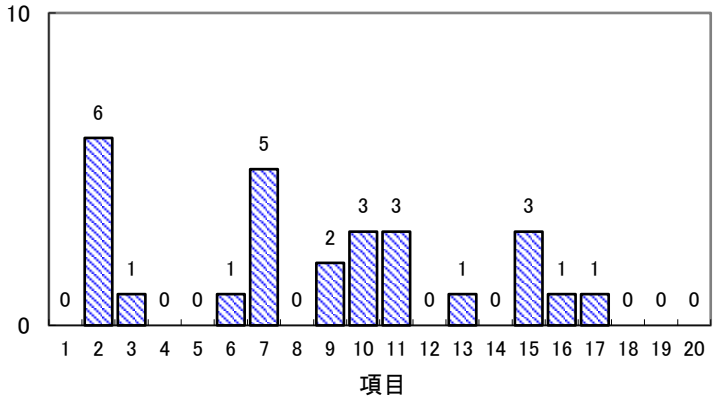


来期見通し(令和5年4～6月見通し)



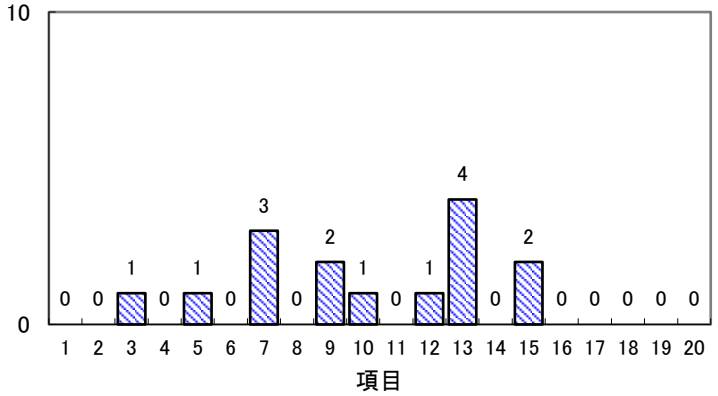
6. 経営上の問題点

製造業



順位
1位 需要の停滞
2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
3位 人件費の増加
4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
5位 従業員の不足

建設業

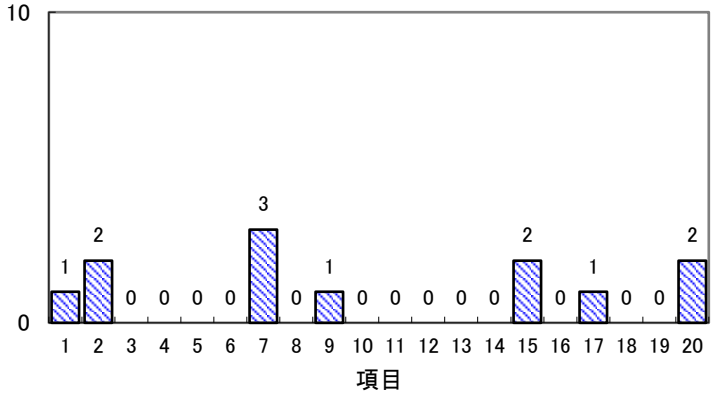


順位
1位 熟練技術者(従業者)の不足
2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
3位 原材料・人件費以外の経費の増加
4位 従業員の不足
5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

項目一覧

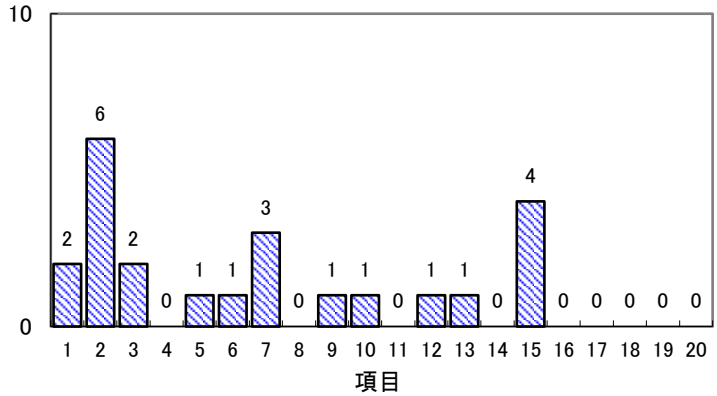
1. 県外大手企業の進出による競争の激化
2. 需要の停滞
3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
4. 新規参入業者の増加
5. 生産設備の不足・老朽化
6. 製品ニーズの変化
7. 原材料（仕入単価）価格の上昇
8. 生産設備の過剰
9. 原材料・人件費以外の経費の増加
10. 人件費の増加
11. 製品（販売）単価の低下・上昇難
12. 原材料の不足
13. 熟練技術者（従業者）の不足
14. 金利負担の増加
15. 従業員の不足
16. 事業資金の借入難
17. 商品在庫の過剰
18. 取引条件の悪化
19. 為替相場による海外製品との競争激化
20. 代金回収の悪化

卸売業



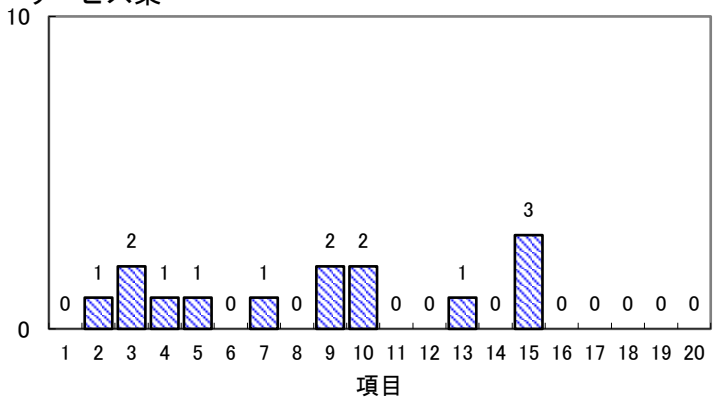
順位
1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
2位 需要の停滞
3位 従業員の不足
4位 代金回収の悪化
5位 県外大手企業の進出による競争の激化

小売業



順位
1位 需要の停滞
2位 従業員の不足
3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
4位 県外大手企業の進出による競争の激化
5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

サービス業



順位
1位 従業員の不足
2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
3位 原材料・人件費以外の経費の増加
4位 人件費の増加
5位 需要の停滞

項目一覧

1. 県外大手企業の進出による競争の激化
2. 需要の停滞
3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
4. 新規参入業者の増加
5. 生産設備の不足・老朽化
6. 製品ニーズの変化
7. 原材料（仕入単価）価格の上昇
8. 生産設備の過剰
9. 原材料・人件費以外の経費の増加
10. 人件費の増加
11. 製品（販売）単価の低下・上昇難
12. 原材料の不足
13. 熟練技術者（従業者）の不足
14. 金利負担の増加
15. 従業員の不足
16. 事業資金の借入難
17. 商品在庫の過剰
18. 取引条件の悪化
19. 為替相場による海外製品との競争激化
20. 代金回収の悪化